

鬼北町内小中学校耐震化の状況について

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保が不可欠となっています。児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を整備するため、耐震診断の結果などをもとに、危険度が高く緊急に整備する必要があるものから優先的に耐震化を進めていきたいと考えています。

つきましては、鬼北町内の学校施設の耐震化の状況をお知らせします。

町内小中学校耐震化の状況・学校別一覧

(平成21年3月1日現在)

学 校 名	棟 用 途	建築年月	構造	階数	面積(m ²)	区 分	第1次診断		優先度 ランク	第2次診断
							年度	I s 値		
好藤小学校	管理教室棟	S 53.3	R	2	1,641	旧基準	H17	0.35	—	H21年度予定
〃	屋内運動場	S 52.3	S	1	486	旧基準	H17		3	H21年度予定
愛治小学校	管理教室棟	H 元.2	R	2	1,801	新基準	—	—	—	—
〃	屋内運動場	H 2.2	R	2	749	新基準	—	—	—	—
三島小学校	管理教室棟	S 61.2	R	2	1,801	新基準	—	—	—	—
〃	屋内運動場	S 38.3	S	1	626	旧基準	H17		3	H21年度予定
泉小学校	管理教室棟	S 58.3	R	2	1,895	新基準	—	—	—	—
〃	屋内運動場	S 59.2	R	2	698	新基準	—	—	—	—
近永小学校	管理教室棟	S 56.8	R	2	2,571	旧基準	H17	0.42	—	H21年度予定
〃	配膳室	S 56.8	R	1	34	旧基準	H17	0.49	—	H21年度予定
〃	渡廊下	S 56.8	R	2	63	旧基準	H17	0.49	—	H21年度予定
〃	特別教室棟	S 56.8	R	3	860	旧基準	H17	0.40	—	H21年度予定
〃	屋内運動場	S 57.3	R	2	703	新基準	—	—	—	—
日吉小学校	管理教室棟	H 元.3	R	3	1,841	新基準	—	—	—	—
広見中学校	管理教室棟	S 48.12	R	2	760	旧基準	H17	0.53	—	H21年度予定
〃	第一教棟	S 48.12	R	3	2,442	旧基準	H17	0.30	—	H21年度予定
〃	第二教棟	S 49.3	R	2	1,909	旧基準	H17	0.35	—	H21年度予定
〃	第三教棟	S 49.5	R	1	298	旧基準	H17	0.75	—	H21年度予定
〃	第三教棟	S 49.5	R	1	335	旧基準	H17	0.62	—	H21年度予定
〃	屋内運動場	S 50.3	S	2	1,400	旧基準	H17		4	H21年度予定
日吉中学校	管理教室棟	S 53.12	R	3	1,604	旧基準	H17	0.47	—	H21年度予定
〃	屋内運動場	S 53.12	R	2	702	旧基準	H17		3	H21年度予定

- ・構造欄に「R」とあるのは鉄筋コンクリート造、「S」とあるのは鉄骨造を表します。
- ・区分欄に「旧基準」とあるのは新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは新耐震基準施行後に建築されたものを指します。
- ・「新基準」と表示のあるものは耐震診断対象外であるため、「区分」欄より右の各欄は「—」となっています。
- ・「第1次診断」とは、個別の建物の耐震性能を簡略的に評価する診断方法であり、「第2次診断」とは個別の建物の耐震性能を詳細に評価する診断方法です。
- ・「I s 値」とは、建物の耐震性能を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。
- ・「I s 値」はその棟の診断箇所の最低値を記入しています。
- ・「優先度ランク」とは、設置者がどの建築物から耐震診断を実施するべきかのランク付けで、優先度の高いものから順に1から5にランク付けされます。